

学校だより青南

7月号

令和5年6月30日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



「自分のことが好きですか」

校長 野口 直樹

1学期も残すところ1か月となりました。

6月17日・19日の学校公開には、多くの保護者の皆様に足を運んでいただきありがとうございました。制限なしの学校公開を久しぶりに実施することができました。

自己肯定感という言葉を目にしたことがあると思います。「非認知能力」の一つで”自分のことが好き、満足している。自分に自信がある”という感覚です。様々な課題を解決するための基盤となります。

OECD(経済協力開発機構)先進7カ国の調査で、日本の子どもの自己肯定感が非常に低いことが問題視されています。内閣府が数年前に公表した「子ども・若者白書」でも、「自分自身に満足している」という質問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した日本の若者(13~29歳までの男女)は45.1%という結果でした。つまり、半分以上が自分をどこか否定的にとらえているということが分かります。

また、世界規模で、子どもたちの『自己肯定感』に関する調査をしたところ、日本の10代~20代は、他の先進国と比べて、とても自己肯定感が低いという結果でした。同様に「自分には長所がある」と答えた結果は、日本が69%に対して、他の国は概ね90%以上でした。そして、「自分の将来に希望をもっている」に対しては60%でした。

グローバル化・情報化で、子どもたちが暮らす未来は、世界が小さくなっていきます。その中で、困難に直面した時に、「自分ならできる」「最後までやりきる」「失敗を恐れない」「誰とでも協力できる」という前向きな思考で行動できることが求められます。その時に必要となってくるのが自己肯定感です。

この自己肯定感、ひとりでは勝手に育っていくものではありません。そこで、ご家庭でも、誰かと比較せず、過度な干渉や指示的な言葉かけを減らし、「どう思う」「どうしたい?」とまずは、話を聴くことを基本として、子ども自身が、考え・判断する機会を多くしてください。難しいときには、少しだけ一緒に考えさせてみてください。そして、自分の決めた取り組みやがんばりを認めて、褒めてあげてください。子どもに任せたら、自由勝手にしてしまうとお考えの方もいるかもしれませんが、本当に認めて信頼した子どもは、そんなことはしません。ただ、そのような行動があったり、失敗したりしたときには、その行為のよくない点や失敗した原因について一緒に考え教えてあげてください。

他者から認められ獲得した、自己肯定感、子どもたち一人一人にとって、彼らが思い描く未来をつかむための大きな力になると考えています。

学校で子どもたちは、学習場面や行事等で先生や友達と関わりをもちながら困難に立ち向かったり、成功を喜んだり、失敗して落ち込んだりと様々な経験をすることで成長していきます。そうした中で、自己肯定感を高められるよう教職員が同じ方向を見て子どもたちの成長を支援していきたいと考えております。

~自分を愛することは、幸運への一番の鍵になります。~

ロバート モーレイ (イギリス俳優)

【運動会報告】

5月27日。素晴らしい晴天のもと、令和5年度運動会を行いました。

各学年の演技は、今までの練習の成果を発揮し、一人一人の思いを込めた表情で一生懸命取り組みました。

その姿を見た他の学年からは自然と応援の声が出て、心温まる雰囲気でした。

子どもたちの素敵な姿がたくさん見られた1日となりました。

【算数少人数】

算数では、2年生以上で少人数指導を実施しています。

大切にしていることは、分からない時に「分からない」と言えることです。誰かの「分からない」に寄り添いながら、みんなでみんなが分かるようにしていきます。友達の「見え方」を理解しようとする中で、自分自身の「見方・考え方」を広げ、深められるようにしていきたいと思います。

【セーフティ教室】

7月1日(土)に、KDDIの方を講師に招き、「スマホ・ケータイ安全教室」を行います。小学校低学年から情報機器に触れる機会が多い現代で、スマホや携帯の安全で適切な使い方について考えます。3校時は保護者向けに家庭でできることについて講演会を予定しています。お子様とスマホ等の使い方について一緒に考える機会になればと思っています。ぜひ、ご参加ください。

【広報委員会】

広報委員会は子どもたちが企画段階から自分たちで考え、iPadでの動画撮影、編集までを行って情報発信しています。現在は「青南小学校の魅力」を発信するために、学校の先生たちへのインタビュー動画を制作中です。みんなで制作途中の動画を見て「こうした方がさらに良くなる」と話し合いながら作り上げている動画の先には、きっと見ている人たちのたくさんの笑顔が溢れていることでしょう。

【科学・実験クラブ】

科学・実験クラブでは、年間を通して様々な実験やもの作りを行っています。今年度は、水中シャボン玉、スーパーボール作り、バスボブ作りなどの活動を予定しています。

5・6月の活動で「水で咲く花」「ミョウバンの結晶」の活動を行いました。ミョウバンの結晶作りでは、薬品や火も扱いました。活動の手順書を見ながら班の人と協力し、安全で楽しい活動を行っています。

【2年生】

4月から、新しいクラス、新しい友達、新しい先生と元気に楽しく過ごしています。算数は筆算にやや四苦八苦しながら、基本的な計算から頑張っています。音読や漢字は、生き生き取り組む子が増えてきました。生活科の学校探検では、1年生をエスコートし、頼もしい姿を見せてくれました。運動会は、ダンスで教え合ったり、団体競技で助け合ったりする等、勝敗以上に、スポーツマンシップについて考える姿がすてきでした。